

基本目標	基本方針	施策	指標名	現状値	令和8年度目標	担当課	令和5年度実績値	評価	令和5年度取組状況 ※評価が「遅れ」の場合は、その理由	令和6年度目標
1 安心して暮らせるまち	1	1	通訳サービスの提供件数	35件(R2)	100件	市民協働推進課	72件	遅れ	通訳・翻訳アプリを活用する外国人市民の増は一因であったため。	75
		2	日本語教室の参加者数	1,138人(H31)	1,138人	市民協働推進課、AGA	572	遅れ	対面教室に切り替えたため、これまでにオンライン教室に参加した受講者数が参加しなくなったため。	600
						生涯学習課	161	遅れ	2学期から金曜日の夜から土曜日の午前に、3学期から土曜日の午後に実施時間を変更したところ、学習者の参加が減少した。	180
	3	外国人市民向け相談窓口のオンライン相談件数	—	10件	市民協働推進課	1件	遅れ	メール相談があったものの、オンライン相談の必要性	2件	
	2	1	AGA子ども教室参加者数	103人(H31)	160人	市民協働推進課、AGA			令和5年度、子ども教室の今後の在り方について、保護者を対象とするアンケートを実施した。	休止中
		2	外国人市民アンケートで医療についての心配と困りごとが「ある」と回答した割合	43.3%(R2)	40%	市民協働推進課			5年に1度実施するアンケートのため、令和5年度の数値はなし。	
		3	外国人市民のための勉強会に参加した人の満足度	—	80%	市民協働推進課、AGA	82%	順調	日本語教室の受講者を対象に、2回「防災講座」を実施した。好評であった。	85%
	3	1	災害時の外国人多言語支援センター運営訓練に参加した人数	17人(R2)	30人	市民協働推進課	14人	遅れ	座学と運営訓練が2週連続で行ったため、都合がつかないボランティアが多かったため、	20人
		2	外国人市民が参加した市が主催する防災訓練数	—	1回	危機管理防災課	1回	順調	令和5年度上尾市災害対策本部訓練(令和6年2月3日開催)において、大谷公民館で住民避難訓練、避難所開設訓練及び要配慮者関連訓練(高齢者・障害者・外国人)を同日・同時刻に開催し、外国人支援ボランティアの方にも参加いただきました。	1回
	市民協働推進課					1回	順調	避難所開設訓練における避難者役として外国人市民4名の参加があった。また、外国人市民のニーズなど聞き取りを行った結果、次年度向けの準備を進めた。	1回	
2 活躍できるまち	1	1	技能実習生の居住支援を行った介護事業所数	0か所(R3)	3か所	高齢介護課	3か所	順調	技能実習生を雇用する介護事業所に対し、生活に不可欠な備品等購入費の支援を行った。	5か所
		2	外国人市民アンケートで「市から欲しい支援」について「就職活動のための相談窓口」と回答した割合	23.8%(R2)	20%	市民協働推進課			5年に1度実施するアンケートのため、令和5年度の数値はなし。	
	2	1	自治会の役員(班長以上)に外国人市民がいる自治会数	11団体(R2)	16団体	市民協働推進課	13団体	順調	いち早く地域に溶け込むため、多言語版自治会のご案内チラシを作成した。	14団体
3	1	通訳・翻訳ボランティアの登録者数	29人(R2)	40人	市民協働推進課	39	順調	通訳・翻訳ボランティア制度を周知するとともに、有償化に向けて他市状況を調査したうえ、予算計上を行った。	39	
3 助け合い、発展するまち	1	1	日本人市民アンケートで外国人市民が増加することが「好ましくない」と答える日本人市民の割合	20%(R2)	15%	市民協働推進課			5年に1度実施するアンケートのため、令和5年度の数値はなし。	
	2	1	「あげおワールドフェア」の来場者数	3,000人(H31)	3,500人	市民協働推進課、AGA	2000	順調	コロナの規制緩和と新しい企画等の取入れにより、参加者が微増した。	2500
	3	1	外国人市民によるSNSでの発信件数	—	80件	市民協働推進課、AGA	1	遅れ	ワールドフェアの他、ハローコーナーニュースでの周知も行ったが、浸透されなかったため。	20件

基本方針	施策	取組	内容	新規・継続区分	担当課	令和5年度目標、方針	令和5年度実績、取組内容、課題	評価	令和6年度目標、方針
1 コミュニケーション支援	1 生活に必要な情報の多言語対応	広報誌の多言語対応等の充実	ハイレイツ（「広報あげお」の内容を英語・ポルトガル語・スペイン語・中国語に翻訳したコーナー）の掲載や視覚的に分かりやすい情報の提供を行います。	継続	広報広聴課	今年度も同様の取り組みを継続しつつ、より分かりやすい方法等を検討します。	『広報あげお』の中で、「ハイレイツ」など外国人向けに4か国語（英語・中国語・スペイン語・ポルトガル語）で注目記事を掲載しました。また、外国人市民向けの記事を掲載する際は、ひらがなでルビをふる他、可能な限り図や写真を入れるなど視覚的に分かるよう配慮しました。	A 計画通り	今年度も同様の取り組みを継続しつつ、より分かりやすい方法等を検討します。
					市民協働推進課	引き続きハイレイツを通して、外国人市民への情報提供をしていきます。	毎月、英語、中国語、スペイン語、ポルトガル語の4言語でハイレイツを掲載しました。	A 計画通り	引き続きハイレイツを通して、外国人市民への情報提供をしていきます。
		SNSを活用した生活情報の提供	SNSを積極的に活用した外国人市民向けの生活情報の提供方法を検討します。	継続	広報広聴課	今後、市民協働推進課が外国人市民向けの情報発信をする際には、投稿するための情報提供を密にしていきます。	外国人市民にも分かりやすい表現を使用したり、HP上の多言語情報を紹介するなど、各種SNSによる情報発信に努めました。発信の際には、ハッシュタグ「#my ageo」を付け、外国人市民が情報を得やすいように工夫しました。	B 概ね計画通り	今年度市民協働推進課が制作する外国人市民向けの生活オリエンテーション動画が完成した際には、あげTubeやSNSを活用し、ハッシュタグ「#my ageo」を付け、情報の拡散に努めます。
					市民協働推進課	令和5年度中に外国人市民向けの情報を発信するSNSアカウントを作成します。	令和5年度中に外国人市民向けの情報を発信するSNSアカウントを作成した。	A 計画通り	ハローコーナーニュース（英語版）の公式LINEを開設し、定期的に情報を発信するとともに、利用者の増加にも注力します。
		通訳サービスの提供	各所属（学校・保育所等を含む）において、ボランティアによる通訳サービス及び電話通訳サービスを提供します。	継続	市民協働推進課	引き続き依頼に応じてボランティアを派遣するとともに電話通訳サービスを提供します。	令和5年度中に1件の通訳ボランティアの派遣および71件の電話通訳の利用がありました。次年度に向け、通訳通訳ボランティアの有償化に取り組んだ。	A 計画通り	引き続き依頼に応じてボランティアを派遣するとともに電話通訳サービスを提供します。
		ICTを活用した通訳サービスの提供	スマートフォン等のアプリをはじめ、ICTを積極的に活用した通訳サービスを提供します。	新規	市民協働推進課	引き続き翻訳機の貸し出しを行うとともに他の通訳サービスについても周知を図ります。	依頼があった課に対して翻訳機（ポケトーク）の貸し出しを行いました。また、翻訳アプリケーション（VoiceTra）などICTを活用した通訳サービスの情報収集をしました。	B 概ね計画通り	引き続き庁内で電話通訳の利用を促すとともに、無料通訳サービスについても周知を図ります。
	多言語・やさしい日本語のためのガイドライン作成	行政文書や刊行物等の多言語・やさしい日本語対応を幅広く進めていくため、ガイドラインを作成します。	新規	市民協働推進課	今年度中の作成を目指し、内容を検討します。	やさしい日本語ガイドラインを作成し、全庁周知を行った。月1回やさしい日本語ニュースを発行し、COUSで掲載している。	A 計画通り	引き続きやさしい日本語の周知を行うとともに、職員向けの研修も検討します。	
	2 日本語学習の機会提供	日本語ボランティアへの支援	研修の実施や国・県などからの情報提供等、日本語ボランティアへの支援を強化し、質の向上に努めます。	継続	市民協働推進課、AGA	引き続き日本語教室およびボランティアに関する情報の提供をはじめとする支援を行います。	国・県からの情報提供をするともに上尾市国際交流協会主催の研修会開催における会場の手配の支援を行いました。	A 計画通り	引き続き日本語教室およびボランティアに関する情報の提供をはじめとする支援を行います。
		日本語教室の充実	ニーズを踏まえた日本語学習環境の整備に努めます。	拡充	市民協働推進課、AGA	引き続き学習者のニーズ等を踏まえた学習環境を整備していきます。	新型コロナウイルス感染症は5類に引き下げたことにより、より効果的な学習を実施するため、日本語教室は対面教室に切り替えました。	B 概ね計画通り	引き続き学習者のニーズ等を踏まえた学習環境を整備していきます。
					生涯学習課	金曜日の夜間に開催していましたが、夜道が怖いなどの意見があり、2学期から土曜日の午後に教室の開催時間を変更し、広報等により周知を図り、参加者数を増やしていきます。	学習者161名・ボランティア247名 コロナ	C 要努力	広報等により周知を図るとともに、学習者が参加しやすい開催日時について検討する。
	日本語教室の効果的な周知	SNS等を積極的に活用した日本語教室の周知を行います。	新規	市民協働推進課	多様なSNSを利用した新たな周知方法についても検討していきます。	AGAのSNSや広報あげお、ハローコーナーニュースで日本語教室開催の周知を行いました。	B 概ね計画通り	令和6年度に開設したハローコーナー（英語版）公式LINEを加え、引き続き日本語教室の周知していきます。	
	3 相談体制の充実	外国人市民向け相談窓口の充実	引き続き、ハローコーナーを運営するとともに、相談対応可能な言語の拡充を検討します。	継続	市民協働推進課	市内ベトナム人のニーズを踏まえ、相談方法を対面からメールに切り替えます。	英語・中国語・スペイン語・ポルトガル語・ベトナム語の5言語で対応するとともに市民のニーズに合わせた相談体制について検討しました。	A 計画通り	庁内多くの窓口及び他機関は平日しか対応できないことを踏まえ、これまでの第4土曜日の開設をすべて月曜日のみに切り替えます。
		外国人市民に対応できる職員の育成	外国語で対応できる職員を把握し、協力体制を構築します。また、多言語・やさしい日本語での対応等の庁内研修の実施や自主研修の支援を検討します。	拡充	職員課	引き続き、外国語で対応できる職員を把握し、協力体制を構築するとともに、職員の育成を図ります。	やさしい日本語ガイドラインを作成し、全庁周知を行いました。また、全庁掲示板に研修動画を掲載し、月1回やさしい日本語ニュースを発行しました。	A 計画通り	引き続きやさしい日本語の周知を行うとともに、職員向けの研修も検討します。

					市民協働推進課	引き続き国等が主催する研修の情報を共有し、職員の参加を呼びかけます。	やさしい日本語ガイドラインを作成し、全庁周知を行いました。また、全庁掲示板に研修動画を掲載し、月1回やさしい日本語ニュースを発行しました。	A 計画通り	引き続きやさしい日本語の周知を行うとともに、職員向けの研修も検討します。
		新たな相談手法の検討	他自治体の先行事例や相談者のニーズを踏まえ、オンライン相談などの新たな相談のあり方を検討します。	新規	市民協働推進課	市内ベトナム人のニーズを踏まえ、相談方法を対面からメールに切り替えます。	相談件数や市内外国人の状況等を踏まえ、タブレットによるオンライン相談を検討しました。	B 概ね計画通り	引き続き外国人市民のニーズに応じて、オンライン相談を検討します。

1	子どもが安心して教育を受ける環境整備	「取り出し指導」の充実	児童・生徒の個性を生かした効果的な指導方法を研究し、全ての対象者に日本語指導職員を派遣します。	継続	学務課	申請児童・生徒全員へ配置します。	申請児童・生徒 56名全員に配置しました。	A 計画通り	申請児童・生徒全員へ配置します。
		進学に向けた進路指導	外国人市民向けの高校進学ガイダンス事業の活用等、適切な進路指導を行います。	継続	指導課	取り組みを継続するとともに、積極的な情報の収集と発信を行います。	県・県国際交流協会・県産業文化センター共催の外国人住民向け高校進学ガイダンス事業を紹介しています。	A 計画通り	取り組みを継続するとともに、積極的な情報の収集と発信を行います。
		乳幼児等の育成支援	保育所や放課後児童クラブでは、必要に応じてやさしい日本語やローマ字の使用で対応します。また、通訳ボランティアの活用を図ります。	継続	保育課	取り組みを継続し、多言語による対応や通訳者のより円滑な活用を図ります。	日本語の理解が難しい外国籍の保護者に対しては、各保育所で、お便り等にローマ字やひらがなで、ふりがなをつけたり、優しい日本語で話したり、状況に合わせた対応をしています。なお、令和5年度に原市保育所に音声翻訳機を導入し、私立保育施設には音声翻訳機の導入補助を実施しました。	A 計画通り	取り組みを継続し、多言語による対応や通訳者のより円滑な活用を図ります。
					青少年課	要望に応じて多言語による対応や通訳ボランティア派遣の円滑な活用を図ります。	必要に応じて配布物をやさしい日本語表記にする、翻訳アプリを活用し意思疎通を図るなどの工夫をしました。	B 概ね計画通り	要望に応じて多言語による対応や通訳ボランティア派遣の円滑な活用を図ります。
		国際理解教育の指導方法に係る研修の充実	国際理解教育の指導力向上を目指し、教員を対象としたALTとのチームティーチング（共同授業）や夏期研修を行います。	継続	指導課	研修内容を充実させ、さらなる指導力の向上を目指します。【市・市教育研究会共催教員研修／年5回以上】	国際理解教育の指導力向上を目指し、ALTの授業外での積極的活用を促進するとともに、教師を対象とした指導力向上に係る研修を行っています。【市・市教育研究会共催教員研修／年5回】	A 計画通り	研修内容を充実させ、さらなる指導力の向上を目指します。【市・市教育研究会共催教員研修／年5回以上】
学習支援活動、日本語補習の実施	関係団体と連携し、就学直後の外国人児童・生徒に対する学習補助を検討します。	新規	市民協働推進課、聖学院大学、AGA	対象者のニーズを調査する等、AGA子ども教室の開催方法および内容について再検討します。	AGA子ども教室に関するアンケート調査を実施しました。	B 概ね計画通り	ニーズを踏まえて、検討してまいります。		
2	医療・保険・子育てにかかる環境整備	子育て情報の多言語化	妊娠・出産・育児を行う外国人市民に対し、子育てに関する情報を多言語で提供します。	継続	子ども支援課	未就学児と保護者の交流の場の提供や、子育てに関する悩みの相談を受け付ける子育て支援拠点を紹介する「親子が集える場」を案内するチラシの英語版を作成し、外国人市民に配布できるように引き続き整えるとともに、市ホームページにも掲載します。	未就学児や保護者の交流の場の提供、子育てに関する相談受付を実施している、子育て支援拠点を紹介した「親子が集える場」チラシの英語版を整備し、引き続き外国人市民に向けた情報発信を行いました。	A 計画通り	未就学児や保護者の交流の場の提供、子育てに関する相談受付を実施している、子育て支援拠点を紹介した「親子が集える場」チラシの英語版を整備し、引き続き外国人市民に向けた情報発信を行います。
					子ども家庭総合支援センター	・引き続き、ポケットクや作成済の媒体を活用し、丁寧な対応を行います。 ・外国の方が活用できる便利なツールのご案内をします。（スマホアプリなどを利用してもらうもの）	出産・子育て応援給付金の各申請書について、英語、中国語、ベトナム語に翻訳したものを作成し活用しました。チラシ媒体を参考に、妊娠～出産後の手続きの流れの説明を行いました。	A 計画通り	多言語の既存の媒体や翻訳機器などを活用したり、やさしい日本語を意識しながら個別に対応します。
					健康増進課	引き続き必要に応じた対応を行います。	外国語版母子健康手帳(11言語)の交付や必要に応じ個別に対応しました。	B 概ね計画通り	引き続き必要に応じた対応を行います。
		感染症流行時における多言語での情報提供	感染症流行時には、ワクチン接種等に関する情報を多言語化し、遅滞なく提供します。	継続	健康増進課	新型コロナワクチン接種については、引き続きコールセンターで3か国語に対応します。	新型コロナワクチン接種については、引き続きコールセンターで3か国語に対応しました。	B 概ね計画通り	令和6年度末の特例臨時接種終了に伴い、コールセンターも3月末で終了しました。
		国民健康保険・国民年金・後期高齢者医療の多言語等対応の充実	国民健康保険や国民年金について多言語等で対応します。また、新たに後期高齢者医療についても対応を検討していきます。	拡充	保険年金課	チラシや窓口対応マニュアルの作成により、外国人市民がより理解しやすいよう個別対応を充実させます。	国民年金は国で作成した外国人向けのパンフレットや、電話通訳サービスを活用しています。国民健康保険はハローコーナー、電話通訳サービス、国民健康保険の日本語・英語版パンフレットを活用し対応しました。	B 概ね計画通り	外国人向けパンフレットや電話通訳サービス、ハローコーナーを活用し、外国人市民がより理解しやすいよう個別対応を充実させます。
	多言語対応可能な医療機関の情報提供	多言語対応可能な医療機関の情報を必要に応じて提供	新規	健康増進課	引き続き必要に応じた情報の提供を行います。	必要に応じ、埼玉県の医療情報提供システム(5言語)を案内するなどの情報提供を行いました。	B 概ね計画通り	引き続き必要に応じた情報の提供を行います。	

		提供します。		市民協働推進課	引き続き必要に応じた情報の提供を行います。	市民からの問い合わせなどに応じて、他機関の紹介などを通じて、情報提供を行いました。	B 概ね計画通り	引き続き必要に応じた情報の提供を行います。
	介護保険制度の多言語等対応の充実	介護保険制度について多言語等で対応します。	新規	高齢介護課	介護保険制度の関係法令等に基づき、内容を随時更新します。	介護保険制度周知啓発向けパンフレット「上尾の介護保険」を4か国(英・中国・韓国・ベトナム)語でHPに掲載しています。	B 概ね計画通り	介護保険制度の関係法令等に基づき、内容を随時更新する。
3 日常生活にかかる環境整備	暮らしに関する図書資料の充実	外国語の資料や、外国語による日本紹介資料の収集・提供に努めます。	継続	図書館	市内在住の外国籍市民の割合に合わせて、英語以外の言語の資料も収集するよう努めます。	英語で書かれた本や日本について学ぶ本を中心に収集し、英語以外の外国語の資料については、中国語・ベトナム語・インドネシア語などの言語が併記された資料を5点、多文化コーナーに配架しました。	B 概ね計画通り	引き続き英語以外の資料の収集に努めるとともに、コーナーの利用率の向上のため、周知を行います。
	転入時における多言語化した生活情報の提供	転入した外国人市民に対し、多言語化した生活情報をまとめた「ウェルカムフォルダー」を配布します。	継続	市民協働推進課	引き続き転入者を対象に「ウェルカムフォルダー」を配布します。	英語・中国語・スペイン語・ポルトガル語・ベトナム語の5言語で「ウェルカムフォルダー」を配布し、必要に応じて内容の見直しを行いました。	A 計画通り	引き続き転入者を対象に「ウェルカムフォルダー」を配布するとともに、生活オリエンテーション動画の作成を行います。
	外国人市民のための勉強会の実施	日本の税金や年金制度等の講座を、やさしい日本語や通訳を介して実施します。	継続	市民協働推進課、AGA	引き続き外国人市民を対象とした勉強会を開催します。	2月に日本語教室の受講者を対象に「防災講座」を2回開催し、受講者を含め計39名の参加がありました。	A 計画通り	引き続き外国人市民を対象とした勉強会を開催します。
	「埼玉県多文化共生キーパーソン」制度の活用	「埼玉県多文化共生キーパーソン」制度を活用し、地域と連携を取りながら外国人市民の生活を支援します。	継続	市民協働推進課	引き続き埼玉県多文化共生キーパーソンと連携し、情報共有等を行います。	外国人市民と関りのある市民4名を埼玉県多文化共生キーパーソンとして推薦するとともに適宜情報共有を行いました。新たに1名のキーパーソンを推薦しました。	A 計画通り	引き続き埼玉県多文化共生キーパーソンと連携し、情報共有等を行います。
	子ども向け事業の開催	AGA主催の子ども向け企画(子ども教室、AGAサロン、あげおワールドフェア)、子ども向け体験教室を実施します。	継続	生涯学習課 AGA	市民協働推進課及びAGAと実施について調整を図ります。 引き続き子ども向け企画を実施することで、子どもの多文化共生の意識啓発に繋がります。	夏休み等に、各公民館において小中学生を対象にした体験講座を実施しました。 10月に開催したあげおワールドフェアでは、クイズラリー、キッズスポットや英語に触れるブースなど子ども向けの催しを実施しました。	C 要努力 A 計画通り	市民協働推進課及びAGAと実施について調整を図ります。 引き続き子ども向け企画を実施することで、子どもの多文化共生の意識啓発に繋がります。
	外国人市民向けごみの出し方の周知	希望する市民に対してごみ集積所への多言語の看板を配布するほか、ごみの出し方を周知する取組を検討します。	新規	生活環境課、西貝塚環境センター	ごみの出し方を周知する取り組みについて継続するとともに、ごみ集積所への多言語の看板の作成について検討します。	ごみの出し方を周知する取り組みについて継続し、ごみ集積所への多言語の看板についても引き続き検討中。	A 計画通り	ごみの出し方を周知する取り組みについて継続するとともに、ごみ集積所への多言語の看板については原案を作成する。
	多文化情報コーナーの設置	多言語化された行政の各種資料・パンフレット等を自由に閲覧できるコーナーを設置します。	新規	市民協働推進課	引き続き情報収集を行い、資料の充実を目指します。	国や県、他課が作成した多言語版の資料に関する情報を収集し、庁内ラックに設置しました。	B 概ね計画通り	引き続き情報収集を行い、資料の充実を目指します。

3 災害への備え	1 災害時等における情報伝達手段・支援体制の整備	避難所における多言語・やさしい日本語による情報提供	避難所における情報について、多言語・やさしい日本語で対応します。	継続	危機管理防災課	継続して備蓄していきます。	全指定避難所に設置している防災倉庫内に「多言語表示シート」「コミュニケーション支援ボード」を備蓄しました。	A 計画通り	継続して備蓄していきます。
					市民協働推進課	引き続きボランティアの育成を図るとともに災害時多言語表示シート等のツールの活用を検討します。	災害時多言語支援センター運営訓練を実施し、避難所において多言語・やさしい日本語で対応できるボランティアの育成を行いました。	B 概ね計画通り	引き続きボランティアの育成を図るとともに災害時多言語表示シート等のツールの活用を検討します。
		外国人市民からの救急・消防通報への対応力の向上	三者同時通訳や翻訳アプリを活用し、外国人市民からの通報時や現場での対応力の向上に努めます。	新規	指令課	指令課員の119番入電時の対応力を向上します。 (指令システム操作の習熟)	県国際交流協会主催の災害時多言語情報センター運営訓練に参加し、災害時の情報共有方法等を確認しました。	B 概ね計画通り	引き続き県等と連携し、災害時に迅速に外国人市民に情報提供できる環境を整備します。
		災害・防災情報の多言語・やさしい日本語での提供	国や県等から提供される災害関係の多言語化された情報を、迅速に外国人市民に提供します。	新規	危機管理防災課	引き続き、効率的な情報提供方法について、市民協働推進課と連携して検討します。	1月末に多文化共生ボランティア講習会、2月に災害時多言語支援センター運営訓練を実施し、災害時に外国人支援を行えるボランティアの育成を行いました。	A 計画通り	引き続き講習会及び訓練を実施し、ボランティアの育成を図ります。
					市民協働推進課	引き続き県等と連携し、災害時に迅速に外国人市民に情報提供できる環境を整備します。	県国際交流協会主催の災害時多言語情報センター運営訓練に参加し、災害時の情報共有方法等を確認しました。	B 概ね計画通り	引き続き県等と連携し、災害時に迅速に外国人市民に情報提供できる環境を整備します。
		多言語支援センター運営訓練の実施	災害時の外国人市民支援を目的とした講習会と訓練を実施します。	新規	危機管理防災課	市民協働推進課と連携し、訓練を実施します。	令和5年度上尾市災害対策本部訓練(令和6年2月3日開催)において、大谷公民館で住民避難訓練、避難所開設訓練及び要配慮者関連訓練(高齢者・障害者・外国人)を同日・同時刻に開催し、外国人支援ボランティアの方にも参加いただきました。	A 計画通り	市民協働推進課と連携し、訓練を実施します。
					市民協働推進課	引き続き講習会及び訓練を実施し、ボランティアの育成を図ります。	1月末に多文化共生ボランティア講習会、2月に災害時多言語支援センター運営訓練を実施し、災害時に外国人支援を行えるボランティアの育成を行いました。	A 計画通り	引き続き講習会及び訓練を実施し、ボランティアの育成を図ります。
		指定避難所標識のピクトグラム対応	外国人市民でも容易に理解できるよう、指定避難所標識にピクトグラムを表記します。	新規	危機管理防災課	表示看板の新規設置、修繕の際にはピクトグラムを表記していきます。	指定緊急避難場所等に新たに設置した表示看板について、避難場所であることが分かるピクトグラムを表記しました。	A 計画通り	表示看板の新規設置、修繕の際にはピクトグラムを表記していきます。
		避難所における外国人市民の支援マニュアルの作成	避難所等に避難した外国人市民に対し、適切な支援を行うためのマニュアルを作成します。	新規	危機管理防災課	避難所運営マニュアル・避難所開設キットの内容を精査するとともに、応急対策業務個別マニュアルの作成を検討します。	全指定避難所に配備している避難所開設キットの手順書に記載のある「外国人への配慮」について、避難所班職員に周知しました。	A 計画通り	応急対策業務個別マニュアルとして「要配慮者安全確保対策マニュアル(外国人)」の作成を行いました。 また、避難所運営マニュアル・避難所開設キットの内容については、随時修正を検討します。
					市民協働推進課	聞き取った意見を踏まえ、今後避難所受付時に使用する外国人避難者用チェックリスト等の作成を検討します。	災害時多言語支援センター運営訓練時に避難者役の外国人市民からどのような支援が必要か、現在の避難所運営の問題点などの聞き取りを行いました。	B 概ね計画通り	聞き取った意見を踏まえ、今後要配慮者安全確保対策マニュアル(外国人)の検証を行います。
		外国人市民による災害時の支援活動	日本の生活習慣や文化に理解が深い留学生をはじめとする外国人市民が、外国人被災者への通訳・翻訳支援等、避難所における支援活動で活躍できるよう検討します。	新規	危機管理防災課	市民協働推進課と連携し、訓練を実施します。	令和5年度上尾市災害対策本部訓練(令和6年2月3日開催)において、大谷公民館で住民避難訓練、避難所開設訓練及び要配慮者関連訓練(高齢者・障害者・外国人)を同日・同時刻に開催し、外国人支援ボランティアの方にも参加いただきました。	A 計画通り	市民協働推進課と連携し、引き続き、訓練を実施します。
					市民協働推進課、聖学院大学	大学を通して留学生に訓練の開催を周知します。また、通訳・翻訳ボランティアに登録する外国人市民数の増加を図り、災害時に支援活動ができる外国人市民を育成します。	通訳・翻訳ボランティアに登録している方を対象に、災害時の外国人支援を目的とした講習会および訓練の周知を行いました。	C 要努力	通訳・翻訳ボランティア有償化により、市内大学に在学留学生にも周知し、登録者数の増加を図るとともに、災害時に支援活動ができる外国人市民を育成します。
					危機管理防災課	同システムを活用し、多言語での提供に努めます。	多言語対応電子書籍「Catalog Pocket」(カタログポケット)により多言語の翻訳・読み上げに対応しています。	A 計画通り	同システムを活用し、多言語での提供に努めます。

2 防災意識の啓発	「防災ガイドブック」及び「水害ハザードマップ」の多言語化	避難場所や災害リスクを可視化した「防災ガイドブック」及び「水害ハザードマップ」を多言語で提供します。	拡充	市民協働推進課	引き続き危機管理防災課と連携し、多言語版に関するチラシを配布します。	あげおワールドフェア2023において上尾市防災士協議会によるイツモ防災講座を実施しました。	A 計画通り	上尾市防災士協議会と連携して啓発事業を実施していきます。
	外国人市民向け防災事業の実施	地震や洪水等、日本の災害について外国人市民が事前に把握できるよう、地域の防災教室・イベントでの防災啓発を検討します。	新規	危機管理防災課	上尾市防災士協議会と連携して啓発事業を実施していきます。	あげおワールドフェア2023において上尾市防災士協議会によるイツモ防災講座を実施しました。	A 計画通り	上尾市防災士協議会と連携して啓発事業を実施していきます。
				市民協働推進課	聞き取った意見を踏まえ、外国人市民を対象とした事業やイベントの開催を検討します。	講習会や訓練に参加した外国人市民から災害に関する心配事などの聞き取りを行いました。また、防災士協議会と連携し、あげおワールドフェアにおいて防災に関するブースを設けました。	A 計画通り	聞き取った意見を踏まえ、外国人市民を対象とした事業やイベントの開催を検討します。
	防災訓練への外国人市民の参加促進	自治会や自主防災組織などと連携し、災害時に必要な知識を習得できる訓練への外国人市民の参加を促します。	新規	危機管理防災課	自主防災会に対し、外国人市民の訓練参加について、協力を求めます。	令和5年度上尾市災害対策本部訓練(令和6年2月3日開催)において、大谷公民館で住民避難訓練、避難所開設訓練及び要配慮者関連訓練(高齢者・障害者・外国人)を同日・同時刻に開催し、外国人支援ボランティアの方にも参加いただきました。	A 計画通り	自主防災会に対し、外国人市民の訓練参加について、協力を求めます。
				市民協働推進課	一般参加者としても外国人市民が地域の訓練に参加できるよう周知方法等を検討します。	2月に開催された上尾市災害対策本部訓練に外国人避難者役として4名の外国人市民が参加しました。	A 計画通り	災害時の状況を踏まえ、避難場に駆け付けなくてもオンラインによる運営訓練方法を検討します。

基本方針	施策	取組	内容	新規・継続区分	担当課	令和5年度目標、方針	令和5年度実績、取組内容、課題	評価	令和6年度目標、方針	
1 地域経済の担い手	1 事業者への支援の充実	セミナーの開催や情報提供	在留資格制度や採用までの流れの説明を行うセミナーを開催します。また、国や県等からの情報を、必要に応じ各事業者に提供します。	新規	商工課	引き続き、セミナーの開催をはじめ、国や県等からの情報を提供し、事業者への支援の充実を図ります。	・事業者に対し、人権や国籍等に配慮した取組について啓発を行う、企業人権問題講演会を開催しました。 ・県が実施した事業者向けの外国人留学生採用支援事業について、チラシを配布し、情報の提供を行いました。	A 計画通り	引き続き、セミナーの開催をはじめ、国や県等からの情報を提供し、事業者への支援の充実を図ります。	
		経営に関する相談対応	労務管理や人材教育の方法などをはじめ、企業の経営状態について調査・分析・アドバイス等を行います。	新規	商工課	引き続き、労務管理や人材教育の方法などをはじめ、企業の経営状態について調査・分析・アドバイス等を行います。	・事業者が抱える経営課題や地域課題の解決に向けて、上尾中小企業サポートセンターに登録している中小企業診断士やITコーディネーター等の専門家が、企業を訪問して現場を確認しながら経営相談や各種補助金の申請支援を行う伴走型支援を上尾商工会議所と連携して実施しました。 ・上尾・桶川・伊奈地域雇用対策協議会で開催している若者就職面接会にて、外国人雇用管理アドバイザーによる外国人雇用についての相談受付を行いました。	A 計画通り	引き続き、労務管理や人材教育の方法などをはじめ、企業の経営状態について調査・分析・アドバイス等を行います。	
		介護事業所への支援	技能実習生を雇用する介護事業所に対し、市が住居の紹介や生活に不可欠な備品等を支援します。	新規	高齢介護課	技能実習生を雇用する介護事業所に対し、生活に不可欠な備品等購入費の支援を行います。	技能実習生を雇用する介護事業所に対し、生活に不可欠な備品等購入費の支援を行いました。	B 概ね計画通り	技能実習生を雇用する介護事業所に対し、生活に不可欠な備品等購入費の支援を行う。	
	2 就労支援の充実	国や県等と連携した情報提供		求職者や留学生の国内就職支援をはじめとする情報を広く周知します。	新規	市民協働推進課	引き続き外国人市民に対し、就職に関する情報発信を行います。	ハローコーナーニュースにハローワークの情報を掲載するとともにハローコーナーの相談者に対し、国・県など公的機関が主催する就職活動に関する情報の提供をしました。	B 概ね計画通り	引き続き外国人市民に対し、就職に関する情報発信を行います。
						商工課	引き続き、国や県等からの情報を、必要に応じ提供します。	県が実施した国内就職支援について、チラシを配布し、情報の提供を行いました。	A 計画通り	引き続き、国や県等からの情報を、必要に応じ提供します。
		就労に関する相談対応及び関係機関との連携	市の相談窓口における対応のほか、ハローワークや県の就労支援機関等と連携し、就労を希望する外国人市民に適切な支援を行います。	新規	商工課	引き続き、ハローワークや県の就労支援機関等と連携し、就労を希望する外国人市民に適切な支援を行います。	上尾市ふるさとハローワークにて、若年者から高齢者等の就労支援・職業紹介・求人受理・求人情報の提供等を実施しました。【開庁時間】月～金(祝日、年末年始除く)午前10時から午後5時まで【就職件数】756件	A 計画通り	引き続き、ハローワークや県の就労支援機関等と連携し、就労を希望する外国人市民に適切な支援を行います。	
2 地域コミュニティの担い手	1 地域の担い手である外国人市民の活躍の促進	自治会・PTAへの外国人市民の加入と定着の促進	転入した外国人市民に対し、自治会への加入に繋がる仕組みを検討します。また、PTAの役員の案内について多言語化等を検討します。	新規	市民協働推進課	引き続きチラシの配布を行うとともに通訳翻訳ボランティア制度など自治会が利用できる多言語支援サービスについて周知します。	転入者に対し、自治会加入を促すチラシの多言語版をウェルカムフォルダーに同封して配布しました。また、自治会の加入方法「自治会のご案内」チラシを7か国語で翻訳しました。	B 概ね計画通り	引き続きチラシの配布を行うとともに通訳翻訳ボランティア制度など自治会が利用できる多言語支援サービスについて周知します。	
		外国人市民キーパーソンの発掘	地域の外国人市民コミュニティの中心となり、情報の周知等、市の多文化共生事業に協力できる人の発掘に取り組みます。	新規	市民協働推進課、AGA	引き続きイベントに参加する外国人市民等を通して情報収集をします。	ワールドフェアやウィンターパーティー等で外国人コミュニティの情報収集を行いました。	B 概ね計画通り	引き続きイベントに参加する外国人市民等を通して情報収集をします。	
3 多文化共生の担い手	1 多文化共生の担い手への支援と養成	上尾市国際交流協会（AGA）への支援	引き続き、財政的支援や、市HP・「広報あげお」への掲載等必要な支援を行います。	継続	市民協働推進課	引き続き必要な支援を行います。	補助金を交付するとともにイベント開催にかかる会場の確保や周知について支援を行いました。	A 計画通り	引き続き必要な支援を行います。	
		各種ボランティアの新規登録の促進・養成及び連携	多文化共生ボランティアや通訳・翻訳ボランティアの新規登録者の呼びかけ、ボランティアを必要とする部署とボランティアの調整等を行います。	新規	市民協働推進課	ボランティア制度の周知をし、登録者数の増加を図るとともに講習会や訓練を通じてボランティアの育成を図ります。	HPなどでボランティア登録を呼びかけるとともに県主催の講習会で市のボランティア制度を紹介しました。他部署からの依頼に応じて、ボランティアの派遣を行いました。	A 計画通り	ボランティア制度の周知をし、登録者数の増加を図るとともに、災害時における外国人支援に関する講習会や訓練を通じてボランティアの育成を図ります。	

基本方針	施策	取組	内容	新規・継続区分	担当課	令和5年度目標、方針	令和5年度実績、取組内容、課題	評価	令和6年度目標、方針
1 意識啓発	1 多文化共生についての意識啓発	小・中学校での国際理解教育に関する授業の充実	総合的な学習の時間に、地域に住む外国人市民の方を講師として国際理解教育に関する授業を行います。	継続	市民協働推進課 指導課	引き続き学校からの依頼に応じて、ゲストティーチャーを派遣します。 学校を国際理解教育の大切な拠点として新たに位置付け、児童・生徒を核とした多文化共生社会の実現を目指します。	中学校1校に対し、ゲストティーチャー2名を派遣しました。 今まで登録しているゲストティーチャーの継続確認を行った。 各校では、総合的な学習の時間、特別活動、道徳、外国語等、複数の教科を通して国際理解教育の充実を図っています。	A 計画通り A 計画通り	市内小中学校、公民館等にゲストティーチャー一覧を周知し、活用してもらう。 学校を国際理解教育の大切な拠点として位置付け、児童生徒を核とした多文化共生社会の実現を目指します。
		海外ボランティアとの情報共有	海外各地に派遣されるJICAボランティアの活動や、海外の暮らしについて市HP等にて広く市民に周知します。	継続	市民協働推進課	引き続きJICAと情報共有を行い、市に縁のあるボランティアが派遣された際には、市HP等で周知します。	JICAボランティアの活動記録を市HPに掲載しました。	A 計画通り	引き続きJICAと情報共有を行い、市に縁のあるボランティアが派遣された際には、市HP等で周知します。
		「あげおヒューマンライツミーティング21」の開催	人権講演や、関係団体による交流事業を開催し、外国人の人権について理解を深める機会を提供します。	継続	人権男女共同参画課 AGA	引き続き「あげおヒューマンライツミーティング21」等で外国人の人権について理解を深める機会を提供します。 引き続き外国人市民による講演を行います。	令和5年12月2日(土)に「あげおヒューマンライツミーティング21」を開催し、その中で「AGA」ほか市内で活動する人権に関わる団体の交流ワークショップを実施しました。 ヒューマンライツミーティング内で外国人市民をゲストスピーカーとした講演を行いました。	A 計画通り A 計画通り	引き続き「あげおヒューマンライツミーティング21」等で外国人の人権について理解を深める機会を提供します。 引き続き外国人市民による講演を行います。
		多文化共生に関する情報の提供	企業を対象とした研修などの機会に、人権に関する講演等を通じて情報提供します。	継続	人権男女共同参画課 商工課	引き続き企業に対する多文化共生に関する情報提供を行います。 引き続き、企業を対象とした研修などの機会に、多文化共生意識の啓発を図ります。	令和6年2月8日(木)に「企業人権問題講演会」を商工課と共催で開催し、企業における人権に関する取組などをテーマとして実施しました。 令和6年2月8日に、市内事業者を対象とし、「企業における人権～職場の人権啓発活動～、公正な採用選考」の2つをテーマに、講演会を開催しました。【参加人数：28名】	A 計画通り A 計画通り	引き続き企業に対する多文化共生に関する情報提供を行います。 引き続き、企業を対象とした研修などの機会に、多文化共生意識の啓発を図ります。
		多文化共生に関する出前講座の実施	希望する市民・団体に対して市職員が多文化共生に関する出前講座を実施します。	新規	市民協働推進課	引き続き希望に応じて出前講座を実施します。	多文化共生に関する出前講座の登録をし、市民や団体の希望に合わせて講座を実施できる環境を整えています。	A 計画通り	引き続き希望に応じて出前講座を実施します。
		活躍する外国人市民のPR	市内で様々な分野において活躍する外国人市民を、市HP等で紹介します。	新規	市民協働推進課	引き続きページを公開するとともに新たに紹介できる外国人市民の情報を収集します。	紹介できる外国人市民の情報を収集しています。	C 要努力	引き続きページを公開するとともに新たに紹介できる外国人市民の情報を収集します。
		2 交流の促進	1 交流機会の提供	各種講座の開催	公民館を会場に、外国人市民を講師とした自国文化の紹介に関する講座を実施します。	継続	市民協働推進課、AGA 生涯学習課	引き続き外国人市民を講師としたAGAサロンを年に1～2回開催します。 多文化共生を知るきっかけとして、海外の料理を作る講座を実施します。	外国人市民を講師とし、自国紹介を行うAGAサロンを6月と8月に2回開催しました。 外国人市民から自国の料理を作る講座を実施したほか、未就学児と保護者を対象に英語を楽しみながら学ぶ機会を提供した。【2事業 延べ参加人数24人】
ALTの活用	外国語の授業にとどまらず、音楽や国語・総合的な学習の時間等においても児童・生徒がALTと触れ合い、国際感覚を身に着けられるように努めます。			継続	指導課	ALTの活動内容をより充実させ、外国語や国際理解の教育をさらに推進させます。外国語の授業以外の授業や、給食、清掃等の場面においても、ALTと児童・生徒との触れ合いの場を増やすよう努めます。【ALTの活用率(授業準備除く)1校あたり70%】	現在、市内小・中学校33校に対して36名のALTを配置し、外国語及び国際理解教育の充実を図っています。外国語に係る授業だけでなく、他教科等での授業や教育活動において、ALTを積極的に活用するように学校に指導しています。	A 計画通り	ALTの活動内容をより充実させ、外国語や国際理解教育をさらに推進させます。外国語の授業以外の授業や、給食、清掃等の場面においても、ALTと児童生徒との触れ合いの場を増やすよう努めます。【ALTの活用率(授業準備除く)1校あたり80%】
中学生海外派遣研修の実施	本市と友好関係協定を結ぶオーストラリアのロッキンガム市へ、市内の各中学校から2名ずつ生徒を派遣します。			継続	指導課	4年ぶりに、本事業を再開します。市内の中学生2名をオーストラリアに派遣し、直接異文化に触れ、国際理解を深めます。帰国後は、体験発表を実施します。また、派遣生が経験を生かし、多文化共生推進のために活躍できる場を提供するなど、効果的な方法を研究します。	4年ぶりに、本事業を再開し、市内の中学生2名をオーストラリアのロッキンガム市に派遣しました。	A 計画通り	引き続き本事業を継続します。帰国後は、帰国報告会及び各校で研修報告を発表します。また、派遣生が現地での経験を生かし、多文化共生推進のために活躍できる場を提供するなど、効果的な方法を研究します。
「あげおワールドフェア」の充実	市内活動団体や海外ボランティア経験者・外国人市民が日本語スピーチや民芸品の販売等を行い、市民との交流を深めます。			継続	市民協働推進課、AGA	開催時期を10月に戻し、「あげおワールドフェア」を開催します。	「あげおワールドフェア」を開催し、外国人市民と日本人市民の交流を深めることができました。	A 計画通り	ワールドフェア30回という節目に、新しい企画を通じて、より多くの市民の方とふれあい、交流を深める。

		ホームステイ受入事業の実施	埼玉県と国際交流基金日本語国際センター等によるワンナイトステイ事業に協力し、自宅に研修生を受け入れる日本人市民の登録者の受付、受入案内を行います。	継続	市民協働推進課	引き続き研修生の条件に合わせた受入家庭の紹介を行います。	ワンナイトステイに6家庭を紹介しました。	A 計画通り	引き続き研修生の条件に合わせた受入家庭の紹介を行うとともに、ワンナイトステイ制度の周知を行う。
		SNSを活用した新たな交流の検討	SNSを活用し、外国人市民が情報交換できるプラットフォームの構築を検討します。	新規	市民協働推進課	市内外国人の状況等を踏まえ、市民同士が情報交換できる手段を検討します。	外国語情報誌ハローコーナーニュースでは、SNSの利用促進に関する記事を掲載した。	C 要努力	市内外国人の状況等を踏まえ、外国人市民の情報収集手段を調査し、有効な情報発信方法を検討します。
3 地域 活性化 の 推進	1 外国人による本市のPR	SNSを活用した魅力の発信	本市のイベント等を行う際に、SNSを活用した積極的な情報発信を促します。	新規	広報広聴課	今後、市民協働推進課が外国人を活用した情報発信を行う際には、各種SNSを活用して情報拡散に努めます。	市民協働推進課が外国人を活用した情報発信を行う際には、各種SNSによりハッシュタグ「#my_ageo」を付け、情報拡散することを検討しました。	B 概ね計画通り	今後、市民協働推進課が外国人を活用した情報発信を行う際には、各種SNSを活用して情報拡散に努めます。
					市民協働推進課、AGA	引き続き様々なイベント等でハッシュタグを周知し、外国人市民からの情報発信を促します。	外国人市民が上尾市の魅力に関する情報を発信するためのハッシュタグを作成し、あげおワールドフェアで周知しました。	B 概ね計画通り	引き続き様々なイベント等でハッシュタグを周知し、外国人市民からの情報発信を促します。
		ALTによる魅力の発信	市内小中学校に勤務するALTと連携し、学校生活や日本での体験等を発信します。	新規	指導課	ALT派遣業者と連携し、ALTが学校生活や日本での体験等を踏まえて、本市や本市の学校教育の魅力等を発信できる場を提供できるよう、効果的な方法を研究します。	ALTが情報発信できる場を提供することができませんでした。	C 要努力	ALT派遣業者と連携し、ALTが学校生活や日本での体験等を踏まえて、本市や本市の学校教育の魅力等を発信できる場を提供できるよう、効果的な方法を研究します。